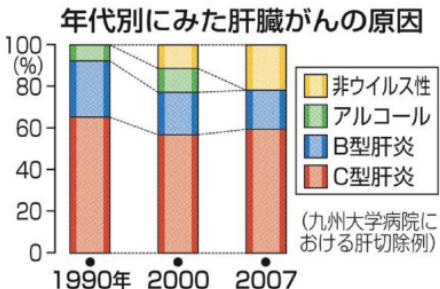


## 臨床と研究から

# 肝臓がん 変わる治療と原因



外科講師 杉町圭史



ルス肝炎が原因で肝臓がんになる患者さんが全体の約9割を占めていました。最近では、ウイルス肝炎に対する予防や治療などが進んだことから、新たな肝炎の患者さんが徐々に減ってきており、肝臓がんで亡くなる患者さんも少しずつ減りつつあります。

ところが最近、ウイルス肝炎にかかるといいのに

## 生活習慣病患者が増

治療法も変わりつつあります。肝臓がんに対して肝

臓を切る治療(肝切除)は、

以前と違い非常に安全にな

っています。手術の際に輸

血が必要になることも大幅

に減ってきました。肝臓は

右側の肋骨の後ろにあるた

め、従来はとても大きな傷

でおなかを開ける必要があ

る。しかし、数年前か

らは、おなかをなるべく切

肝臓がんは根治治療が難しい病気で、日本で「がん」のために亡くなる人の中で男性では3位、女性では5位を占めています。肝臓がんは他のがんとは異なり原因が分かっている場合が多い病気です。日本ではC型肝炎やB型肝炎などのウイ

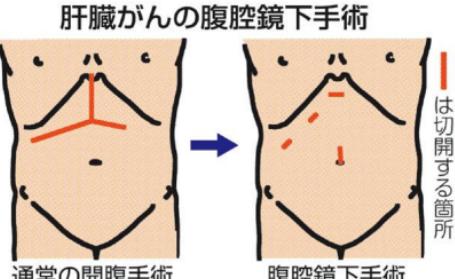
ー検査やCT検査で肝臓の機能障害がある方は、工場検査をすることが必要で、不安がある場合はできるだけ早く医療機関に相談することをお勧めします。

## 腹腔鏡下手術で体の負担減

肝臓がんにかかる患者さんが少しずつ増えてきています(表)。その多くの患者さんは糖尿病などの生活習慣病があることが分かってきました。生活習慣病や肥満などが特殊な脂肪肝を引き起こし、肝臓がんの原因となっています。そのためウイルス肝炎にかかると推測されています。その位を占めています。肝臓がんは他のがんとは異なり原因が分かっている場合が多い病気です。日本ではC型肝炎やB型肝炎などのウイ

ー検査やCT検査で肝臓の機能が非常に悪いために肝切開ができない場合でも当院本院の九大病院では肝移植という治療が可能な場合もあります。肝臓がんも、や

く、体への負担も少ないことから社会復帰も早くできます(図)。一方で、肝機器に比べて傷の痛みが少なく腹腔鏡下手術は従来の手術よりも早期発見が大変あります。肝臓がんも、やはり当院でも行っています。



(7回続き)

別府市莊園の九州大学病院別府病院は、九大病院の組織再編に伴い、昨年4月に別府先進医療センターから名称を変更。より地域に密着した病院運営を目指している。同病院の診療や研究の最前線を紹介する。